



## 令和3年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和3年1月14日

上場会社名 **ダイト株式会社** 上場取引所 **東**  
 コード番号 **4577** URL <http://www.daitonet.co.jp/>  
 代表者 (役職名) **代表取締役社長** (氏名) **大津賀 保信**  
 問合せ先責任者 (役職名) **常務執行役員 管理本部長** (氏名) **埜村 益夫** TEL **076-421-5665**  
 四半期報告書提出予定日 **令和3年1月14日** 配当支払開始予定日 **令和3年2月1日**  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : **有**  
 四半期決算説明会開催の有無 : **有**

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和3年5月期第2四半期の連結業績（令和2年6月1日～令和2年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年5月期第2四半期	26,035	12.0	3,512	24.1	3,555	23.6	2,423	21.0
2年5月期第2四半期	23,253	15.4	2,829	21.6	2,875	21.4	2,002	19.7

(注) 包括利益 3年5月期第2四半期 2,336百万円 (13.3%) 2年5月期第2四半期 2,061百万円 (22.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年5月期第2四半期	178.30	—
2年5月期第2四半期	159.48	158.58

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年5月期第2四半期	57,079	40,660	70.6
2年5月期	54,249	36,868	67.3

(参考) 自己資本 3年5月期第2四半期 40,307百万円 2年5月期 36,505百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年5月期	—	20.00	—	26.00	46.00
3年5月期	—	23.00	—	—	—
3年5月期(予想)	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 令和3年5月期の連結業績予想（令和2年6月1日～令和3年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,500	5.6	4,950	△7.6	5,000	△8.5	3,400	△13.8	252.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	3年5月期2Q	13,719,064株	2年5月期	13,173,464株
② 期末自己株式数	3年5月期2Q	5,493株	2年5月期	5,444株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	3年5月期2Q	13,593,054株	2年5月期2Q	12,558,477株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、厳しい状況で推移しました。段階的に経済活動を再開し、緩やかな回復の傾向があるものの、感染が再拡大しつつあり先行きは不透明な状況が続いております。

医薬品業界におきましては、平成29年6月閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017」において「2020年9月までに、後発医薬品の使用割合を80%とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する」と明記され、国のジェネリック医薬品使用促進政策が実施されて参りました。令和2年7月～9月期には数量シェアが78.9%（日本ジェネリック製薬協会調べ）となり、ジェネリック医薬品の普及は拡大しております。しかしながら、令和元年10月には消費税率引き上げに伴う薬価改定が実施され、令和2年4月には2年に1回の通常の薬価改定が実施されました。さらに令和3年度の薬価改定、及びその後毎年薬価改定が実施されることが決まっており、医薬品業界の事業環境は厳しいものとなることが予想され、当社としても一層の経営効率化への努力が求められております。

このような状況のもと、当社グループは生産基盤の充実を図りながら積極的な営業活動を展開いたしました。

売上高の販売品目ごとの業績は次のとおりであります。

原薬では、血圧降下剤原薬、消炎鎮痛剤原薬及び抗アレルギー剤原薬等のジェネリック医薬品向け原薬の販売増加があり堅調に推移し、売上高は13,788百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

製剤では、自社開発ジェネリック医薬品、医療用医薬品における新薬や長期収載品の製造受託、一般用医薬品の販売増加があり順調に推移し、売上高は12,093百万円（前年同期比19.3%増）となりました。

健康食品他につきましては、堅調に推移し、売上高は154百万円（前年同期比11.3%増）となりました。

新型コロナウイルス感染症の流行による当第2四半期連結累計期間への影響は軽微でありました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高26,035百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益3,512百万円（前年同期比24.1%増）、経常利益3,555百万円（前年同期比23.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,423百万円（前年同期比21.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より2,829百万円増加し、57,079百万円となりました。これは主に、電子記録債権の減少406百万円、商品及び製品の減少410百万円などがあった一方で、受取手形及び売掛金の増加1,212百万円、原材料及び貯蔵品の増加1,219百万円、有形固定資産の増加1,312百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末より962百万円減少し、16,418百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加700百万円があった一方で、1年内返済予定の長期借入金の減少274百万円、電子記録債務の減少1,009百万円、長期借入金の減少554百万円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より3,792百万円増加し、40,660百万円となりました。これは主に、資本金の増加901百万円、資本剰余金の増加901百万円、利益剰余金の増加2,081百万円などがあったことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度より3.3ポイント増加し、70.6%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末より105百万円増加し、3,189百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は1,719百万円（前年同期比851百万円の減少）となりました。税金等調整前四半期純利益3,549百万円、減価償却費1,420百万円の計上があった一方、売上債権の増加額864百万円、たな卸資産の増加額738百万円、法人税等の支払額1,239百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2,238百万円（前年同期比1,329百万円の増加）となりました。これは主に、生産設備の拡充に伴う有形固定資産の取得による支出2,248百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は625百万円（前年同期は791百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出829百万円、配当金の支払額342百万円があった一方で、新株発行による収入1,798百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年5月期（令和2年6月1日～令和3年5月31日）の通期連結業績予想につきましては、令和2年7月10日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,084,107	3,189,115
受取手形及び売掛金	9,065,546	10,278,099
電子記録債権	6,468,927	6,062,186
商品及び製品	3,482,690	3,071,991
仕掛品	4,236,515	4,167,925
原材料及び貯蔵品	4,411,520	5,630,532
その他	133,206	158,945
貸倒引当金	△27,356	△22,805
流動資産合計	30,855,157	32,535,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,163,766	10,201,169
機械装置及び運搬具(純額)	4,977,869	5,073,140
その他(純額)	4,257,967	5,437,863
有形固定資産合計	19,399,603	20,712,174
無形固定資産		
その他	299,353	287,250
無形固定資産合計	299,353	287,250
投資その他の資産		
投資有価証券	3,143,540	2,996,391
その他	569,347	559,753
貸倒引当金	△17,268	△12,138
投資その他の資産合計	3,695,619	3,544,007
固定資産合計	23,394,577	24,543,432
資産合計	54,249,734	57,079,422
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,330,420	5,030,594
電子記録債務	3,858,673	2,849,613
1年内返済予定の長期借入金	1,512,425	1,237,830
未払法人税等	1,302,663	1,167,517
引当金	91,041	137,211
その他	3,959,122	4,211,248
流動負債合計	15,054,346	14,634,015
固定負債		
長期借入金	1,581,182	1,026,469
退職給付に係る負債	568,226	580,916
その他	177,617	177,253
固定負債合計	2,327,026	1,784,639
負債合計	17,381,372	16,418,654

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,370,181	6,271,234
資本剰余金	5,256,371	6,157,425
利益剰余金	24,742,928	26,824,213
自己株式	△13,411	△13,584
株主資本合計	35,356,070	39,239,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,051,667	944,544
為替換算調整勘定	128,681	138,629
退職給付に係る調整累計額	△30,768	△15,384
その他の包括利益累計額合計	1,149,580	1,067,789
新株予約権	3,562	-
非支配株主持分	359,148	353,689
純資産合計	36,868,361	40,660,768
負債純資産合計	54,249,734	57,079,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和元年6月1日 至 令和元年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和2年6月1日 至 令和2年11月30日)
売上高	23,253,840	26,035,653
売上原価	18,497,477	20,191,813
売上総利益	4,756,363	5,843,840
返品調整引当金戻入額	1,822	1,253
差引売上総利益	4,758,185	5,845,093
販売費及び一般管理費	1,928,377	2,332,962
営業利益	2,829,808	3,512,131
営業外収益		
受取利息	363	338
受取配当金	40,395	36,500
受取保証料	6,529	8,500
その他	15,237	18,795
営業外収益合計	62,526	64,135
営業外費用		
支払利息	6,776	3,820
為替差損	1,450	8,224
支払手数料	4,627	3,952
その他	3,853	4,967
営業外費用合計	16,707	20,965
経常利益	2,875,627	3,555,300
特別利益		
補助金収入	1,300	-
投資有価証券売却益	110,686	-
固定資産売却益	49	-
特別利益合計	112,036	-
特別損失		
固定資産除却損	9,217	5,547
投資有価証券評価損	15,153	-
特別損失合計	24,370	5,547
税金等調整前四半期純利益	2,963,293	3,549,753
法人税等	974,967	1,136,587
四半期純利益	1,988,325	2,413,165
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,517	△10,487
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,002,843	2,423,653



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和元年6月1日 至 令和元年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和2年6月1日 至 令和2年11月30日)
四半期純利益	1,988,325	2,413,165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	186,635	△107,123
為替換算調整勘定	△108,957	14,976
退職給付に係る調整額	△4,470	15,384
その他の包括利益合計	73,207	△76,762
四半期包括利益	2,061,532	2,336,402
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,108,789	2,341,861
非支配株主に係る四半期包括利益	△47,256	△5,458

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和元年6月1日 至 令和元年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和2年6月1日 至 令和2年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,963,293	3,549,753
減価償却費	1,416,511	1,420,356
固定資産除却損	9,217	5,547
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,132	△9,681
賞与引当金の増減額(△は減少)	21,678	32,493
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△1,822	△1,253
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	10,345	14,929
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,907	34,812
受取利息及び受取配当金	△40,758	△36,838
支払利息	6,776	3,820
補助金収入	△1,300	-
投資有価証券評価損益(△は益)	15,153	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△110,686	-
売上債権の増減額(△は増加)	△2,709,075	△864,127
たな卸資産の増減額(△は増加)	△271,478	△738,357
仕入債務の増減額(△は減少)	1,239,788	△43,346
その他	236,599	△446,173
小計	2,786,016	2,921,935
利息及び配当金の受取額	40,758	36,838
利息の支払額	△6,612	△3,674
補助金の受取額	1,300	-
法人税等の支払額	△256,185	△1,239,770
その他	5,552	4,021
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,570,829	1,719,351
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,003,676	△2,248,852
無形固定資産の取得による支出	△25,450	△5,798
投資有価証券の売却による収入	117,989	-
その他	2,901	16,486
投資活動によるキャッシュ・フロー	△908,235	△2,238,163

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和元年6月1日 至 令和元年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和2年6月1日 至 令和2年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△950,778	△829,308
配当金の支払額	△248,853	△342,225
自己株式の取得による支出	△120	△172
リース債務の返済による支出	△2,442	△1,733
新株予約権の発行による収入	7,836	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	402,508	1,798,544
財務活動によるキャッシュ・フロー	△791,849	625,104
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,311	△1,283
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	860,432	105,008
現金及び現金同等物の期首残高	1,819,437	3,084,107
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,679,869	3,189,115

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、行使価額修正条項付新株予約権付社債券等に係る新株予約権の行使に伴い、資本金901,053千円、資本剰余金901,053千円がそれぞれ増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金6,271,234千円及び資本剰余金6,157,425千円となっております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

I 前第2四半期連結累計期間(自 令和元年6月1日 至 令和元年11月30日)

当社の報告セグメントは、「医薬品事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 令和2年6月1日 至 令和2年11月30日)

当社の報告セグメントは、「医薬品事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。